

古楽アンサンブル「コントラポント」第10回定期公演

聖母被昇天のミサ

～17世紀パリ夏の祭典

マルカントワーヌ・シャルパンティエ

Marc-Antoine Charpentier (1643 -1704)

ミサ《マリアは天に上げられ》

Missa Assumpta est Maria H.11

聖母被昇天の小オラトリオ

In Assumptione Beatae Mariae Virginis H.353

テ・デウム

Te Deum H.146

演奏：古楽アンサンブル「コントラポント」

〈独唱〉 ソプラノ *dessus*: 花井尚美 広瀬奈緒

アルト *haute-contre*: 上杉清仁

テノール *tailles*: 及川豊 谷口洋介

バス *basse*: 春日保人

〈管弦楽〉 ヴァイオリン・ヴィオラ *violons*:

小野萬里 大西律子 本多洋子 丹沢広樹

深沢美奈 阿部まりこ 上田美佐子

チェロ *basse de violon*: 高橋弘治

ヴィオローネ *violone*: 西澤誠治

リコーダー *flûtes à bec*: 太田光子 辺保陽一

オーボエ *hautbois*: 尾崎温子 森綾香

ファゴット *basson*: 永谷陽子

トランペット *trompette*: 斉藤秀範

ティンパニ *timbales*: 松下真也

テオルボ *théorbe*: 金子浩

オルガン *orgue*: 上尾直毅

〈合唱〉 ソプラノ *dessus*: 鍋木綾 櫻田江美 高松令美 森川郁子

アルト *hautes-contre*: 長谷部千晶 久保法之

テノール *tailles*: 坂口寿一 佐藤拓

バリトン *basses-tailles*: 櫻井元希 富本泰成

バス *basses*: 西久保孝弘 堤智洋 望月忠親

指揮：花井哲郎

2011年6月10日(金) 午後7時(6時30分開場) 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール

チケット 前売 一般 4,000円 ペア 7,000円 学生 2,500円* / 当日 4,500円(全自由席)

チケット取扱 *学生券は学生証を提示の上お求め下さい

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
(セブンイレブンでの引き取り可能)

東京古典楽器センター 03-3952-5515

スペース・セントポール(東京カテドラル内) 03-3941-4971

サンパウロ(四谷駅前) 03-3357-8642

問い合わせ

フォンス・フロリス 窪田(受付:9時~21時)

phone/fax: 04-7140-7225

mobile: 080-5099-3751

email: m-kubota@fonsfloris.com



助成:文化芸術振興費補助金
(芸術創造活動特別推進事業)

Fonsfloris

主催:フォンス・フロリス

フランス・バロックを代表する宗教音楽作曲家シャルパンティエが作ったミサ曲の最高峰「ミサ《マリアは天に上げられ》」を中心としたプログラムです。この祝日の出来事を、マリアとイエスという登場人物と合唱によって物語っていく、一種の小さなオラトリオ、そして特に序曲によって広く知られた名曲、テ・デウムを合わせて上演します。古楽声楽を専門とする独唱者、若手声楽家によるプロの小合唱、そしてリコーダー、バロック・オーボエ、テオルボなどを含む古楽器によるオーケストラが、フランス・バロック特有の演奏法に基づき、時代様式を生かした演奏で、名曲を現代に甦らせます。「コントラポント」はこの演奏会で10回目の定期公演を記念します。



2010年9月東京カテドラル公演 撮影：長澤直子

古楽アンサンブル「コントラポント」 *Contraponto*

花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。主に17世紀を中心とした後期ルネサンスからバロックの宗教音楽をレパートリーとする。「コントラポント」Contrapontoとは「対位法」を意味する古いイタリア語。この時代においても教会音楽の基盤であった技法として、このアンサンブルの演奏アプローチの一面も象徴している。声楽家と器楽奏者が音そのものに対するイメージを共有し、各自の独創性を生かしながらも「対位法的に」一体となった演奏を目指している。プログラムにより各バ

ート一人ずつのアンサンブルから、バロック・オーケストラと独唱・合唱という形態まで、作品と時代様式にふさわしい編成をとる。これまで自主公演のほか、目白バ・ロック音楽祭、NECレクチャーコンサートなどに出演、モンテヴェルディを中心としたイタリア初期バロック、シャルパンティエやリュリなどフランス・バロック、シュッツを始めとした17世紀ドイツの3大S、スペインのピリャンシーゴ、南米バロック時代のイエズス会宣教師の音楽などを手がけてきている。公式サイト <http://www.fonsfloris.com/c/>



花井哲郎 *Tetsuro Hanai*

早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業。アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。またブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。グレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事。「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」音楽監督としてルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏・CD録音を続けるほか、フランス・バロックの演奏にも特に力を入れている。様々な古楽アンサンブルを指導して、グレゴリオ聖歌、ルネサンス・バロックの宗教音楽の演奏と普及活動を行う。フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。2011年4月よりNHK-FM「古楽の楽しみ」(毎週日曜午前6時放送)を担当。



渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール (渋谷区桜丘町23-21)

- ・山手線「渋谷」駅西口 徒歩5分
- ・ハチ公バス(恵比寿・代官山循環 タヤけこやけルート) [4-3] [31-2] 「文化総合センター大和田」下車

今後のコントラポント公演のご案内

2011年12月14日(水) 午後7時
 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール
コントラポントと祝う楽しいクリスマス
 ~クリスマス・キャロルとバロックの名曲

チケット発売は7月の予定。詳細はフォンス・フローリスまでお問い合わせ下さい。